



問題1 次の文の( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 1 出世のため( )どんなことでもするという人たちがいるのだ。  
1 とあれば      2 とあって      3 にすれば      4 にあって
- 2 個人的な利害関係で市政を行なった前の市長( )、今度の市長は住民との話し合いをモットーにしている。  
1 に並んで      2 に照らして      3 にひきかえ      4 にもまして
- 3 彼の立腹の原因が何なの( )、全く理解できなかった。  
1 とて      2 とも      3 とか      4 やら
- 4 学生に人気のこの食堂は、毎日昼時( )、学生でいっぱいになる。  
1 ならでは      2 ともなると      3 をもって      4 となつては
- 5 彼が出場していれば、優勝( )、1勝ぐらいはできただろう。  
1 いかんにかかわらず      2 もさることながら  
3 とはいかないまでも      4 はもとより
- 6 ミカは周りの子にどんな悪口を( )、じっと耐えた。  
1 言わせようにも      2 言われようにも  
3 言わせようが      4 言われようが
- 7 A「例の件、勇気をもって社長に言ってみたらあっさり受け入れてくれましたよ。」  
B「そうですか。( )ですね。」  
1 言ってみるもの      2 言ってみたもの  
3 言ってみるところ      4 言ってみたところ
- 8 恐れ入りますが、この修理は当店ではお引き受け( )。  
1 するべくありません      2 するものでもありません  
3 いたしかねます      4 しかねないのです



- 9 他人を( )、本当の幸せはやってこないと思う。  
1 うらやまんばかりのようでは      2 うらやんでばかりいるようでは  
2 うらやまんばかりだとしても      4 うらやんでばかりいるとしても
- 10 A「すみません。お皿を落としてしまって……。」  
B「大丈夫。この皿は割れるべくして( )。気にしないで。」  
1 割れたんですよ      2 割れていますよ  
3 割れていませんよ      4 割れそうもないですよ



問題2 次の文の★に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- [11] それなりの \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 発言できないのだ。  
 1 軽々しくかるがる 2 かえって 3こそ 4 知識があれば
- [12] 彼は期待される新人だが、今日の \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ようだ。  
 1 出来ではなかった 2 聴衆ちゆうしゆうの 3 満足に足る 4 演奏えんそうは
- [13] この作品は \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ものがない。  
 1 よくできている 2 心に響くひび 3 技術的に 4 とはいえ
- [14] 黙だまっていたれば \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ために大騒おおさわぎになった。  
 1 一言 2 ものを 3 口に出した 4 よかった
- [15] このショールは \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ とってもいい。  
 1 色が 2 材質ざいしつも 3 鮮あざやかで 4 さることながら



問題3 次の文章を読んで、文章全体の趣旨を踏まえて、[16] から [20] の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

顔をめぐって、このような心理学的に興味深い話がある。

高校や中学を卒業して以来の久しぶりの同窓会に [16] 。あなたは列席者の中に長い間見えていない友人たちの姿を発見できるだろうか。

顔の記憶がどのくらい鮮明に持続するかを調べる実験が、アメリカの心理学者ブラックたちによって行われている。高校卒業後25年会っていない同級生の最近の顔写真を、昔の写真と [17] を調べたのだ。実験の結果、同級生どうしであれば昔の顔を正確に言い当てられることがわかった。 [18] これが当て推量でないことを確認するため、同級生でなかった人にも、挑戦してもらった。相手が同級生でないと、写真の照合成績はずっと低かったのである。

[19] もある。大人になって知り合った友人の、子どもの頃のアルバムを見せてもらう。見たことのない子ども時代の友人の顔を、言い当てることはできるだろうか。

心理学者の真覚まきめは大学生に、幼稚園時代の顔を [20] 実験を行った。顔見知りのクラスメートと見知らぬ学生の、子どもの頃の写真と現在の写真を照合させるのだ。実験の結果は、ブラックたちの実験と同じであった。クラスメートの子ども時代は簡単に言い当てることができたが、知らない人の子ども時代の顔は当てられなかったのだ。

(山口真美『赤ちゃんは顔をよむ』紀伊國屋書店による)

- [16]  
 1 出席したとする 2 出席したときのことだ  
 3 出席してみよう 4 出席したのである

- [17]  
 1 照合するかどうか 2 照合できるかどうか  
 3 どうやって照合するか 4 だれが照合できるか

- [18]  
 1 もしくは 2 こうして 3 したがって 4 さらに

- [19]  
 1 このこと 2 そのこと 3 こんなこと 4 そんなこと

- [20]  
 1 当てられる 2 当てさせてもらう 3 当てさせる 4 当てさせられる